

教育方針	「磨き合い 共に輝け 二階堂」をスローガンに、「キャリアデザイン科」の特色を生かし、社会の中で自らが果たす役割や生き方を見つけ、地域社会や国際社会に貢献できる人材の育成を目指したキャリア教育を推進する。		総合評価
平成28年度の成果と課題	本年度の重点目標	具体的目標	
28年度はキャリアデザイン科2年目となり、幅広い選択科目やインターンシップ等の取組をはじめとしてキャリア教育の充実が見られた。また先生方のきめ細かな指導もあり、問題行動による指導件数、遅刻数ともに減少している。平成29年度に3学年そろってキャリアデザイン科となることを踏まえ、すべての教育活動において社会人基礎力の育成を中心としたキャリア教育に、全員で取り組んでいく。	(1)一人一人の個性と能力、可能性を伸ばすキャリア教育の推進	①学力の向上（質の高い授業・BUTによる基礎学力の充実・積極的な資格、検定の取得）。 ②「産業社会と人間」、「かがやき（課題研究）」による、キャリアプランニング能力の育成。 ③進路説明会や系列選択ガイダンス、進路面談等により、進路選択のミスマッチの防止。 ④部活動や生徒会活動、学校行事を通して、主体性と協調性を持った生徒の育成。	
	(2)自他の生命を尊重する心と礼節を重んじる態度の育成	①爽やかな挨拶、美しい言葉遣いと身だしなみ、マナーの向上に努める。 ②積極的、自主的な清掃活動を通して、公共心や感謝の心を育む。 ③ボランティア活動を推進し、地域との連携を図り、地域社会に貢献する。 ④高等養護学校分教室との交流を推進し、社会性、多様性を尊重する心を育む。	
	(3)教職員一人一人が協力して教育力の向上を目指す学校運営	①指導力向上に向け、評価と指導の一体化、アクティブラーニング、ICTの活用を進める。 ②保護者や地域との連携・交流の強化のため、積極的に情報発信と情報公開を行う。 ③学年、分掌、事務室が情報を共有し、連携・協働を一層進める。 ④教育活動の充実のため、施設・設備の整備を進める。	

分野	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価 結果※	成果と課題 (評価結果の分析)	改善方策等	学校関係者評価 (結果・分析) 及び改善方法
学習	学力の向上	・BUTの実施により基礎的・基本的な知識・技能の習得を目指す。 ・資格・検定の積極的受検により能動的な学習習慣を身につける。				
	教科指導力の向上	・指導力の向上に向け、評価と指導の一体化、アクティブラーニング型授業の導入、ICTの活用を進める。 ・生徒が「わくわくする授業」の実践。授業評価で「興味や関心がわき、もっと学びたいと思うような授業」のGPA3.4以上。				
生活 指導	規範意識の向上	・挨拶の励行、正しい言葉遣いを推進し、粘り強く指導をすることによってルールやマナーを守れる素地をつくる。 ・問題行動の昨年度比10%減少とマナーの向上を実現する。				
	基本的生活習慣の確立	・時間を大切に指導を徹底し、けじめある行動を心がける。遅刻指導の方法を見直し、遅刻の数を昨年度比10%減を目標とする。 ・学年集会等を利用して、服装・頭髪等の身だしなみの指導を行う。				
	生徒理解と家庭との連携	・第1学年において期間を定めて、家庭訪問を実施する。 ・報告・連絡を徹底して、生徒情報の共有化を図る。				
情操 指導	読書週間の定着	・『朝の読書』お薦め本のリストを作成し、『朝の読書』を充実させる。 ・図書委員会活動を活発にする。(委員会活動の定期的な実施(年6回))				
	文化行事の充実	・勾玉祭(文化祭)で生徒による主体的な運営を図る。(実行委員会の50%を生徒主体で行う)				
	環境美化意識の向上	・クリーンキャンペーンを通して環境美化の啓発に努める。 ・清掃点検を徹底して一層の美化を推進する。(点検率100%)				
指導	奉仕精神と勤労観の育成	・生徒会のボランティア活動の充実。トイレ清掃ボランティア活動を継続、年6回以上の実施と参加延べ生徒数200名以上。 ・各クラス年1回の通学路清掃の実施。				
健康 管理	生徒の体力の向上と健康維持	・運動部への加入率をあげ、活動が継続できることを目指す。昨年度比10%増。 ・体育授業での体力作りの種目を計画し運動量を増やす。 ・新体力テストの校内平均を奈良県の平均まで引き上げる。				
	食育の充実	・生徒及び保護者への講演会やアンケートの実施。 ・保健だより(毎月発行)とアンケート集約の活用。				

※ 自己評価結果について … A：十分である(よくできた) B：ほぼ十分である(ほぼできた) C：あまり十分でない(あまりできなかった) D：改善を要する(できなかった)

分野	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価 結果※	成果と課題 (評価結果の分析)	改善方策等	学校関係者評価 (結果・分析) 及び改善方法
進路指導	進路目標の明確化と進路実現	・サクセスセミナーの内容を充実させ、生徒が具体的目標を持って行動につなげることができるようにする。出席者数については80%以上を目標とする。				
	卒業後に要する知識・技能・態度の育成	・新生活へのスムーズな移行の支援として、学校推薦による就職内定者や大学合格者に対し、定期的にセミナーを実施する。該当者の90%以上の参加を目標とする。				
地域・保護者との連携	学校関係者との連携	・PTA活動への保護者の参加を促進する。(参加者数10%増) ・学校評議員からのアドバイスを学校運営に活かす。				
	学校評価制度の活用と充実	・各種アンケートを実施・分析して、学校改善に反映させる。保護者アンケート回収率90%以上。				
	開かれた学校づくり	・学校ホームページの充実。保護者アンケートにおいて「本校のHPをよく見ている」のGPA2.5以上。 ・学校開放・地域交流の推進。奈良県教育週間への参加率昨年度比10%増。				
防災	安全教育・防災体制の充実	・避難訓練の実施と防災教育の充実。				
人権・特別支援教育	生徒の人権尊重の意識の確立	・社会人としての姿勢を養う人権教育ホームルームの創造を図る。 ・人権係の活動を充実させ、人権尊重の意識を高める。				
	要支援生徒の把握と教育相談の充実	・生徒の様々な悩みを受け止め、子どもたちの自立や社会参加につながる解決策を組織的に考える教育相談・特別支援教育の体制を確立する。高等養護学校分教室の生徒との協働を推進する。				
国際理解教育	外国人生徒の支援体制の充実	・国際交流研究会の活動を活性化させ、多文化共生社会に対する意識を高める。				
研究研修	各種校内研修の実施	・特別支援教育の充実に向け、関係機関との連携を強化し、校内研修会を実施する。一人一人の教育的ニーズの把握に努める。 ・教科を超えた授業公開・研究の実施。(延べ参加人数昨年度比10%増)				
第1学年	基本的な生活習慣の確立・規範意識の向上	・欠席・遅刻への意識を高め、きっちりとした身なりができること。生徒との会話を増やし、信頼関係をより強化する。 ・生徒の可能性を伸ばし、主体性と協調性を持った生徒の育成。				
第2学年	規範意識の向上 進路を見据えた学習	・常に身だしなみを意識する姿勢を持たせる。時間を守る指導を徹底し、遅刻を減らす。(平成28年度第1学年比10%減) ・授業・BUTを大切に、進路補習等に積極的に参加させる。				
第3学年	生徒の進路希望の実現を図る	・進路選択の進路説明会や進路補習等の充実を図る。(進路行事への参加率を昨年度より10%増やし、面接指導を実施する。) ・爽やかな挨拶や美しい言葉遣い等、社会人基礎力を身に付けさせる。				
総合	教育活動全体の充実	・保護者アンケートにおいて「子どもを二階堂高校に入学させてよかったと思う」のGPA3.6以上。				

※ 自己評価結果について …… A：十分である（よくできた） B：ほぼ十分である（ほぼできた） C：あまり十分でない（あまりできなかった） D：改善を要する（できなかった）